



冷たい風が吹き抜ける季節となり、朝、お布団からなかなか出れなくなりましたね。

また、町中赤や緑・黄色とカラフルな色とジングルベル♪ジングルベル♪と楽しい音楽でにぎわってきました。子ども達もクリスマスやお正月をワクワクして待っている頃かと思います。

まだまだ寒さが増すと思われるので体調やケガには気をつけて下さいね。

意外と知らない!



風邪ってなあに??

「かぜひいたかなあ。」と昔からよく聞かれる「風邪」。冬だけではなく1年中かかりますね。今回はそんな「風邪」についてお話したいと思います。

「風邪」とは正式名称は「風邪症候群」といい、また「普通感冒」「急性上気道流」とも呼ばれています。

◎病原ウイルスや細菌などが鼻・のど・気管支などに侵入して感染を起こします。

原因となる病原体は80~90%がウイルスです。

幼児は1年間で平均6~7回風邪をひくと言われています。

ウイルスの数は **なんと!** 200種類以上と言われており、どのウイルスが原因か特定するのは困難です。主な原因ウイルスはライノウイルス・コロナウイルス※・RSウイルス・パラインフルエンザウイルス・アデノウイルス・エンテロウイルスなどがあります。200種類以上ものウイルスが原因のため1度かかって免疫がついても再度他のウイルスが感染してしまい度々風邪をひくのです。※ここでいうコロナウイルスはいわゆる新型コロナウイルス(covid19)とは違います。

ウイルス以外の原因としては、一般細菌・肺炎マイコプラズマ・肺炎クラミドフィラ等の細菌もあります。

◎鼻水・鼻詰まり・咳・のどの痛み発熱などを起こします。また腹痛や、下痢、発疹などの症状が出ることもあります。

◎症状が軽く食欲もあり元気がある時は自宅で様子を見ましょう。

高熱が続く・元気がない等の場合には早めに小児科を受診しましょう。

◎重症化すると気管・気管支・肺に炎症が波及することもあります。風邪と侮らず普段と様子が違う、なかなか症状が改善しない時には再受診をお勧めします。

◎低年齢児は高熱時に熱性けいれんを起こす場合があります。

熱性けいれんには気を付けましょう。

[熱性けいれん特徴]ぼーっと意識がなくなったり、手足を突っ張り全身が反り返り手足をがくがくと震わせる。声をかけても反応をしない。

◦けいれん時は慌てて体をゆすったり絶対にしてはいけません。

◦嘔吐をした時に喉を詰まらせないように顔を横に向けましょう。※絶対に口内にはしなどをいれてはいけません。

◦できればけいれんが何分間続いたか時計を確認し、医師に伝えられるようにしておきましょう。

※意識が戻らない・数時間以内に再びけいれんが起きる・普段と様子が違う場合は夜間でもすぐに受診しましょう。

◦けいれんがおさまっても必ず受診をしましょう。



11月に多かった病気
インフルエンザA型
風邪症候群